

日本・ドイツビジネス研修生交換プログラム概要

奨学金の対象

本プログラムは、川越の姉妹都市であるオッフェンバッハ商工会議所が資金を提供し、川越商工会議所とオッフェンバッハ商工会議所が共同で運営を行っております。

毎年各地1名の研修生が、9～12月の間で3か月間川越ないしオッフェンバッハで企業研修を行うことができます。奨学金の内容は、往復の航空券(エコノミークラス、支給上限1000ユーロ)、相手国母国語の語学授業(支給上限1000ユーロ)、生活費月800ユーロです。

ブルムキャンプ日独交換基金について

ブルムキャンプ日独交換基金は、1995年にオッフェンバッハ商工会議所の前会頭、故アロイス・ブルムキャンプ氏のかつての夫人で日本人のケイコ・ブルムキャンプ＝マギヤー夫人の寄付により創設されました。

一定の期間、違った文化背景の中で生活し仕事をした経験は、いろいろな局面で役立ち、将来の仕事に活かれます。また、受入企業にとっても国際経験のある従業員を得ることは今後の鍵といえるでしょう。本プログラムを通じて日本とドイツの経済関係が促進され、強化されることが期待されます。

必要な条件

- ・30歳以下(派遣する年の4月1日現在)で、川越在住の方、出身・在学・在勤など川越市とゆかりのある方
 - ・研修開始時点で2年以上、専門学校、短期大学、総合大学で勉強された方
 - ・企業で研修を行うことの出来る語学力(英語またはドイツ語)がある方
 - ・面接試験日に川越商工会議所に来所し、面接試験を受験出来る方
- ※Zoom等のネットワークサービスを利用した面接のご依頼はお受けしかねます。

応募～選考試験の流れ

川越商工会議所ホームページ(<https://www.kawagoe.or.jp/>)から応募書をダウンロードし、志望理由書(400字まで)を添えて期日までに川越商工会議所まで提出ください(郵送可)。応募締切後、書類選考を実施します。書類選考後、面接試験のご案内を郵送にてご連絡します。

滞在準備

選考試験に合格した方に対し、研修期間及び希望する業種、健康状態の確認などのヒアリングを行います。研修企業の業種についてはご希望に添えない場合もございますので予めご了承ください。

研修先と滞在期間が決まり次第、相手先商工会議所が住居を探し紹介します。滞在先は原則としてホームステイで研修先は両市の商工会議所の市外になることもあります。

ご自身の都合により3ヶ月以上の滞在となる場合は所轄の大使館または領事館にビザを申請する必要があります。滞在延長手続きはご自身での手続きをお願いしております。

生活費は毎月現金にて支給されます。特別な事態が起こったときには奨学金の前払いも可能です。

研修後

帰国後は各商工会議所で個別に面談を行い、報告書のご提出をお願いしております。他、会議での研修報告や場合によってはメディア・インタビューをお願いすることがあります。

担当

地域振興部

ビジネス研修生担当

☎049 - 229 - 1810

chiikishinko@kawagoe.or.jp

2024年11月26日現在